

岡山インドネシア友好協会



料理教室、屋台料理「バツソ」を楽しむ

12月17日、国際交流センターで岡山インドネシア友好協会による料理教室が開かれた。メニューはバツソ（Bakso）、肉だんご入りの麺料理での屋台料理の定番。鶏と牛のミンチと調味料を手でこねて肉だんごにしてゆで、スープは骨付き牛肉を煮込んだ。参加者はインドネシア人20人、日本人10人。留学生とその家族、インドネシア語講座の受講者らでバツソを味わった。

メニューの検討や材料の準備、作り方の説明は留学生が率先して取り組んだ。岡山で入手できない材料は、通信販売を利用して取り寄せた。

同協会は料理教室を年間約2回のほか、修了生の送別会、花見、花火大会の鑑賞、断食明けパーティーなどを開催し、留学生との交流の機会を設けている。インドネシアの年間行事と岡山の季節イベントを一緒に楽しみ、岡山で充実した留学生生活を過ごせるようフォローしている。

インドネシア語講座、初心者でも大丈夫

インドネシア語講座が、毎週土曜日13時から開講され、留学生を講師として約25名が受講している。旅行や仕事などでインドネシア人と関わったことをきっかけに受講する人が多く、ほとんどが初心者。文字はアルファベットなので比較的着手しやすい。年度途中でも参加は可能、受講料は年間15000円。

日本人がインドネシア語を学ぶだけでなく、講師の留学生が日本語を学ぶ機会にもなっている。辞書だけでは把握できないニュアンス、よく使うフレーズを身振りを交えて教え合う場面も多い。

同協会はインドネシアに関する知識の習得やインドネシアとの友好、親善をはかるために1981年に設立。インドネシアとの人的、文化的交流を図りながら相互理解、友好関係を深めていく活動をしている。



お問合せ

岡山インドネシア友好協会 谷本氏 TEL & FAX.086-277-0329

ホームページ http://www.geocities.jp/indonesia_okym/ttg_kami.html

Facebook 「岡山インドネシア友好協会」